

2001

9月



059

XVLと同じ新世代
FR-Lプラットフォーム採用

2代目ステージアのリアビュー。Dピラーからハッチゲートへとつながるコンビランプが目新しく、話題になりそう。新世代プラットフォームとV6エンジンはXVLから流用される。

ステージア

5

月にXVLが登場した後、秋にはワゴンボディをまとったステージアが2代目にバトンタッチを果たす。現行モデルが先代ローレルをベースに開発された経緯と同じく、次期モデルもXVLから新世代プラットフォームを流用。RB型直6ユニットに代わってV6エンジンが搭載され、フロントノーズが現行よりもコンパクトに仕上がるだろう。

まだ判明していない部分が多いが、リアまわりはここに掲載したイメージに近い。具体的にはDピラーに内蔵されたコンビネーションランプがインパクトを放ち、後続車にしつかりと存在感をアピール。しかも、そのコンビランプはDピラー内では完結せず、ハッチゲート側まで続くというのだ。ここ数年、多くのクルマにビラー内蔵型コンビランプが採用されてきたが、ハッチゲート埋め込みとの併用パターンは例が少なく、それだけに、目新しさもハンパじゃないだろう。

このほか、ラゲッジアンダートレイや分割可倒式リアシート、フルトリムで見栄えよく仕上げられた広大なラゲッジスペースなど、FR-L級ワゴンにふさわしい演出と装備アイテムが揃う。

060



クラウン MC

登場から丸2年を迎えるにあたり、恒例のMCで外観デザインを一部変更。現時点ではフロントグリルとリアコンビランプ、そしてフロントバンパーの手直しが検討されている。また、内装ではシート表皮が新デザインに変わり、高級感に磨きがかかるようだ。メカニズム面での大幅な変更はない模様。

061



S2000 改良

NSX同様、細々と販売が続けられるため、定期的に改良が行われるようだ。タイプVの追加以降、初の手直しを受ける01年にはボディカラーの設定が見直される可能性が高い。しかし、内外装デザインやハード面で大きな改良が実施されるといった情報はなく、当分の間は目立った動きもないだろう。

062



プレマシー MC

先ごろ、登場後初の改良で各グレードの装備設定が見直され、エアロパーツ装着の新グレードもラインナップに加わった。次のMCではフロントバンパーやリアコンビランプ、シート表皮の柄が変わり、モジュール化された新オーディオも採用されるだろう。新ボディカラーのラインナップにも期待したい。

063



インプレッサ 改良

スバル恒例の年式改良は発売から1年が経過する時期に実施される可能性が高い。ただし、デビュー1年後なので大きな変更点はなく、ユーザーから寄せられた声への対応や一部ボディカラーの差し替えにとどまるはず。改良前にはスポーツワゴンに1.5のお買い得モデルが追加されるかも。

064



YRV 改良

本誌発売と前後して4WD車にパノラマガラストップが追加設定されるとの情報あり。発売1年後には販売動向を見ての改良が施され、安定したセールス状況が保たれる。内装細部のデザインが変更されるとともに、ハザードランプスイッチがヒーターコントロールパネル内に移設され、使い勝手が向上する。